











特別講演会

# 「夢あふれる医療者になろう！」

～医療に関わる職種の多様性・多職種による連携の実際を知る～を開催しました



去る2月20日(月)、いわき明星大学AV講堂において、かしま病院主催の特別講演会「夢あふれる医療者になろう！」が開催されました。

医療関係者や医療職に興味を持つ小学生から大学生及び看護学生など幅広い年代から約200名が出席し、医療職者を養成していく上での様々なカリキュラムや工夫、いわき地域における多職種連携やチーム医療の必要性などについて、熱心に話を聴いていました。

2部構成の第1部では、聖マリアンナ医科大学学長の三宅良彦先生が「医学部の立場から」、いわき明星大学学長の山崎洋次先生が「薬学部・看護学部の立場から」、それぞれ基調講演を行っていただきました。

第2部のパネルディスカッションでは、「医療系職種を目指す君たちへ」と題し、座長に高知医療再生機構理事長の倉本秋先生をお迎えし、三宅良彦学長、山崎洋次学長に、いわき明星大学准教授の吉川真一先生、磐城共立高等看護学院教務主任の高木文子先生を加えた4名のパネリストからお話頂きました。



聖マリアンナ医科大学学長 三宅良彦先生



いわき明星大学学長 山崎洋次先生



第1部座長 養生会理事長 中山大



パネルディスカッション



高知医療再生機構理事長 倉本秋先生



いわき明星大学准教授 吉川真一先生



磐城共立高等看護学院教務主任 高木文子先生

## 呼吸器科診療の地殻変動 渡り歩いて来て

医学の進歩は目覚しく、10年前の知識はいつまでも通用はしません。患者は前期高齢者になりましたが、今でも嘱託常勤医として患者さんを担当していますので、医学の進歩に追いついていかないと患者さんに迷惑をかけることになります。そのため、時々老骨に鞭打って学会や研究会に出かけ福島や仙台、時に東京詣でをして知識を吸収しています。



呼吸器腫という病気があります。喫煙などで肺が壊され膨らみすぎて風船のようになり、ちよっと動くだけでも呼吸が苦しくなる病気です。COPDとも呼ばれます。20年数年前のことですが、この治療に胸腔鏡下レーザー治療が有効だということで大ブームになりました。膨らみすぎた肺をレーザー光線ですぼませて小さくすれば息がしやすくなるという発想です。さらに、いっそ一部切除して肺を小さくしても有効だろうと考えるようになりまして。肺容量減少手術です。この治療は一時爆発的に流行しました。当時、中堅から若手の呼吸器外科医は国立がんセンターにしばしば足を運び、成毛昭夫先生を師と仰ぎ一生懸命胸腔鏡下手術の知識と技術を吸収しました。呼吸器外科医であった20数年前の熱気が思い出されます。肺容量減少手術では術後数年間は呼吸が楽になりましたが、その後、元に戻って呼吸が苦しくなることが判明したため、やがてブームは去りました。肺気腫の手術は消えましたが、これをきっかけに発展した胸

テレビなどでも「変貌する肺がん治療」が大大的に喧伝され、夢のような治療が現実味を帯びてくるようになりまして、医療者としてどうかうかしていられず医学の進歩に追いつくのがやっとなります。遺伝子解析はほとんど複雑化し人智では処理できなくなりそうです。やがては、最適の治療薬を決めるために、AI(人工知能)に頼るようになりそうです。

医学の進歩は目覚しく、10年前の知識はいつまでも通用はしません。患者は前期高齢者になりましたが、今でも嘱託常勤医として患者さんを担当していますので、医学の進歩に追いついていかないと患者さんに迷惑をかけることになります。そのため、時々老骨に鞭打って学会や研究会に出かけ福島や仙台、時に東京詣でをして知識を吸収しています。

そのための医療のコストは高くなり医薬品も高騰化しています。免疫チェックポイント阻害薬にいたっては、1年間に3500万円も掛かるような薬が使用されるようになり、国家財政を減ぼしかねないと社会問題になりました。今年になって、薬価は半額になりましたが、それでも年間1750万円です。一人の患者さんが1年間に得られる収入を遥かに超える金額です。生命の価値は地球よりは重い、と思われていますが、どこまで医療費がかけられるか真剣に考えないといけない時代になりました。

(呼吸器科部長 山根喜男)





# ようこそ 家庭医療へ!

～ いわきに生きる家庭医療への挑戦 ～

第85回  
東日本大震災後6年を経て

診療部 石井 敦



有能な人は「忙しい時ほど、より忙しく過ごし、すべてをこなしていく…」

「時間がないから無理！」などという言い訳は決してせず、むしろ「時間をつくるもの」とばかりに山ほどの課題を次々にこなし、社会に多くの遺産を残していく…。凡人には到底できそうもないことを、平等に与えられた時間の中でこなしていく…。

「スゴいなあ～」

常日頃、自分には出来ないこととして、ある意味すぐれた人間限定の他人事(凡人の自分には関係ないこと)として片付けていました。

2011年3月11日

あの日を境に個人の中でも同じようなことが起こることを学びました。

「人は誰でも、忙しい時ほど、より忙しく過ごそうとするスイッチを隠し持っている」

平時には到底出来そうもないことを、今までと同じスピードで過ぎてゆく時の中でこなしていく…。

平平凡凡と過ごしていた私が…

I love 暇。な私が…

筆不精過ぎて、夏休みの絵日記すら三日坊主だった自分が…  
スーパーアナログ人間だった自分が…

日常診療をこなすだけでも充分忙しい状況が続く今、個人ブログ「いわきで創る家庭医療」(<http://atsushii.blogspot.jp>)などを通し、わざわざキーボードを叩き、いわきの実情や私見を

信じ続けています。

それは何故でしょうか?

今、私が感じていることを、独り占めしてはいけないし、生涯忘れてはならないと思うからです。

私自身の変化は、私の想いを世界中に運び、私に多くの方々との新たな出会いをもたらしてくれました。

gooヘルスケアの医療と健康コラム

「家庭医が綴る福島からのメッセージ」

(<http://health.goo.ne.jp/column/healthy/h002/0143.html>)

の連載のご依頼をいただいたのもそのひとつです。いわきに住み、いわきで働く家庭医として、私が伝えなくて誰が発信できるでしょうか? そう考え、日常業務の合間に想いを込めました。安全と信じていた原発が爆発!

怖かったあの日…

けれど、私は愛するこの地で生きていくことに何の迷いもありませんでした。

同じく故郷への熱い思いを持ちながら、愛する住み慣れた土地を離れ、今でも長期の避難生活を余儀なくされている方々が、どれだけ無念かを想像すると胸が苦しくなります。

震災から6年…

多くの方々の励ましとお力添えのお陰で今年も元気に頑張っています。これからも、今のいわきを発信していきます。

かしま病院では、2008年度から家庭医を志す研修医や地域医療実習を行う医学生を受け入れています。このコラムを担当する医師の石井敦は日本プライマリ・ケア連合学会認定指導医として、研修医・医学生の指導を行っています。



## 退院後のリハビリについて

前月号では、当院に入院されている患者様が退院される前の退院調整についてお話致しました。今月号は、退院後のリハビリについてお話ししたいと思います。

まずは、入院中の方が行われるリハビリと退院後利用する方が多い通所・訪問リハビリとの違いについて説明します。国の保険制度には医療保険と介護保険がありますが、入院中のリハビリは医療保険が適用となっています。入院中のリハビリの特徴は、ある決められた期間内で集中してリハビリを行い、自立して日常生活が送れるよう支援します。自宅退院後も継続したリハビリが行えるよう、退院後は介護保険を利用した通所・訪問リハビリを行います。通所リハビリの目的は、施設等に通り、食事や入浴などの日常生活上の支援を受けながら、入院中のリ

ハビリで獲得した身体機能を維持～発展させて、可能な限り自宅で日常生活を送る事ができるようにするというものです。また、訪問リハビリの目的は、利用者様の実際の生活の場にお伺いして、日常生活の自立と家庭内さらには社会参加の向上を図る事とされています。これらの介護保険領域のリハビリは、希望する方や必要性の高い方が利用します。

私達医療スタッフは、在宅の生活をイメージしながら、入院中に患者様やご家族から在宅後のイメージを聴取し、必要に応じた介護保険サービスの利用について案を出させていただきます。また、在宅復帰後上手に介護保険サービスを活用する為に、入院中よりケアマネージャーや通所リハビリ・訪問リハビリ等のスタッフと連携を図り安心・安全な生活が送れるよう支援しています。

作業療法科 村山 綾子



## かしま荘通信

### 車椅子贈呈式

2/22(水)



2月22日 常磐共同ガス株式会社様より車椅子をご寄贈頂きました。贈呈式では来荘された代表取締役社長 猪狩謙二様より、ご利用者様へ車椅子が渡されました。式の最後には、当法人理事長よりお礼の言葉と感謝状を贈りました。

常磐共同ガス株式会社様ありがとうございます。大切に使用させていただきます。

## イベント開催予定のお知らせ

### 糖尿病教室

時間 10:00～10:20  
会場 クリニックかしま会議室  
・3月10日(金)  
以降未定

### ゆる体操教室

時間 1回目 13:30～14:30  
2回目 15:00～16:00  
会場 クリニックかしま会議室  
・3月11日(土)  
・4月15日(土)  
・5月13日(土)

### 家庭医療セミナー～実践家庭医塾～

時間 19:00～20:00  
会場 かしま病院コミュニティーホール  
・3月16日(木)  
・4月27日(木)  
以降未定

### 乳がん患者のつどい アイリスの会

日時 毎月第3水曜日 14:00～15:30  
会場 かしま病院コミュニティーホール  
・3月15日(水)  
・4月19日(水)  
・5月17日(水)

興味のある方は、お問い合わせください。